

昨年度はACCESSの基礎と応用を「さら〜っと」教えてもらった。
先生によると、ACCESSというデータベースソフトは奥が深く、
“業務”をまるごと作り上げるようなこともできるという。
そこで、せっかく教わるなら自分の仕事に役立つように
“運用実績管理業務”を作ってみようと考えた。
目標は年度末の完成！（なんて、公言してイイんかなあ…）

第9回

これは、アクセスにあくせんす（悪戦す）る苦闘の日記である。（^^;）

前回までのあらすじ

ACCESSで業務処理を完成させる！と決意した野口は、システム部門の1年先輩に教えを乞う。先輩は毎回ヤキニクを奢ることを条件に、手取り足取り教えてくれることになった。

（^^;）ソロソロハツシナイ、オシエモエナイカモ…

既存の帳票から項目を3段階に分析するという手順によるテーブルの基本設計後に、やっとパソコン操作が始まった。テーブルの作成、リレーションシップの作成などの後に、実際のデータをデータベースにインポートした。さらに、データ入力のフォームを作り、処理の流れを“クエリ・フォーム・マクロ”でつなげていくという。期末も近くなって焦りの色がでてきた野口、果たして業務システム構築のゆくえは如何に？

12月×日

野口：「先輩、おはようございます。」

先輩：「やあ、おはよう。この間までの流れは呑み込めたかな？」

野口：「おおまかに、ですけどね。」

先輩：「頼りないなあ。今日はマクロの中身を作っていくからね。フォームは揃っていますか？」

野口：「は〜い！“ベンチマーク実績”処理の4つのフォームを作っておりませう。」

先輩：「前回、クエリも作ったね。マクロも名前だけ登録した。並べてみよう。そして、2ページ目に前回と同じ流れ図を再掲するので、フォームやマクロの記号を対応させておこう。」（下図1）

図1

マクロ名	アクション
M_ベ実メイン	(a)
M_ベ実新規	(b)
M_ベ実検索	(c)
M_ベ実変更削除	(d)
M_ベ実変更削除_削除	(e)
M_ベ実閉じる	(f)

オブジェクト

- テーブル
- クエリ
- フォーム
- レポート
- ページ

クエリ

- Q_ベンチマーク実績 (B)で使用
- Q_ベンチマーク実績検索 (D)で使用
- Q_ベンチマーク実績削除 (e)で使用

デザインビューでフォームを作成する

- ウィザードを使用してフォームを作成する
- F_ベ実メイン (A)
- F_ベ実検索 (C)
- F_ベ実新規 (B)
- F_ベ実変更削除 (D)

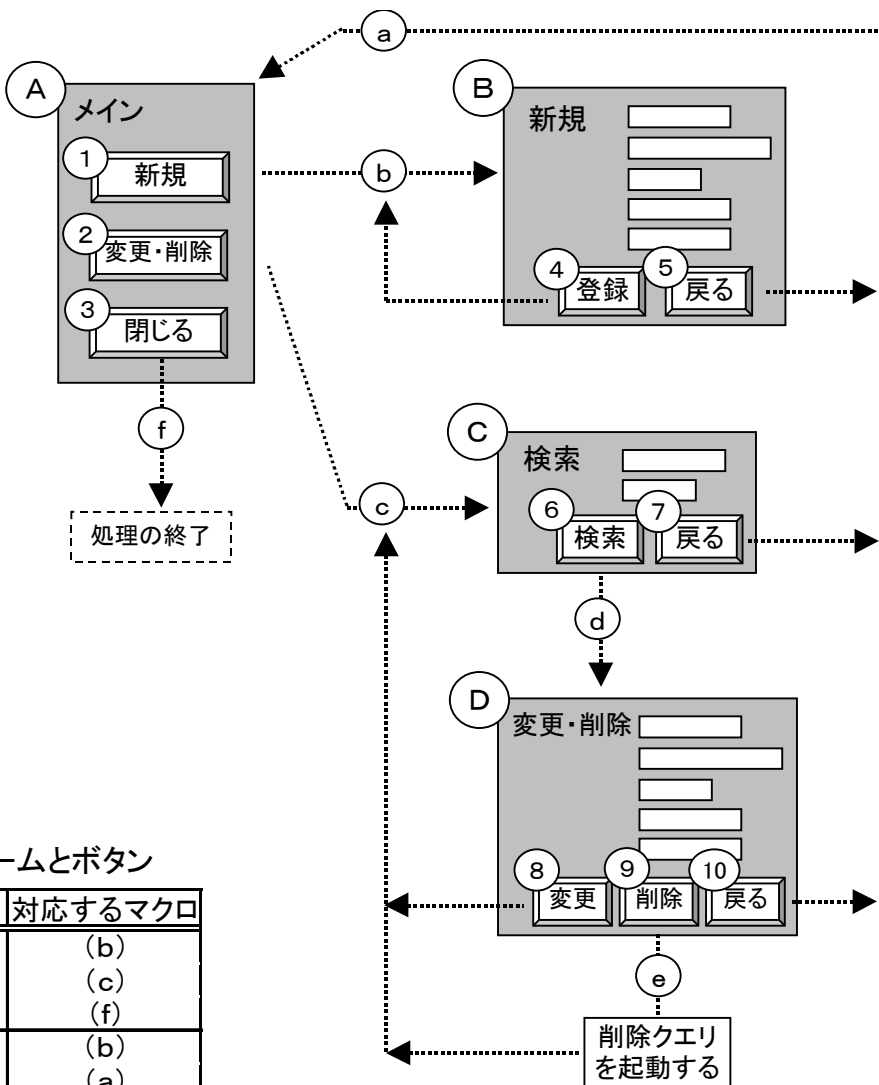
“ベンチマーク実績”
メンテナンス処理

〔概要図〕

◎ 右図のように“ベンチマーク実績”のデータをメンテナンスする処理の流れを作ってみた。

◎ それぞれのフォーム(画面)には次の処理に飛ぶ“ボタン”を作りそれぞれのボタンに[マクロ]を割り当てる。(下表)

◎ マクロは、同じ処理をするものは同一のマクロで行う。例えば⑤⑦⑩のボタンでは同一マクロを使う。



“ベンチマーク実績処理” フォームとボタン

フォームの名前	ボタン	対応するマクロ
A F_ベ実_メイン	① 新規	(b)
	② 変更・削除	(c)
	③ 閉じる	(f)
B F_ベ実_新規	④ 登録	(b)
	⑤ 戻る	(a)
C F_ベ実_検索	⑥ 検索	(d)
	⑦ 戻る	(a)
D F_ベ実_変更 削除	⑧ 変更	(c)
	⑨ 削除	(e)
	⑩ 戻る	(a)

マクロの一覧とその処理内容

No.	マクロの名前	処理
(a)	M_ベ実_メイン	フォームAを開く
(b)	M_ベ実_新規	フォームBを開く(入力データは更新される)
(c)	M_ベ実_検索	フォームCを開く
(d)	M_ベ実_変更削除	フォームDを開く
(e)	M_ベ実_変更削除 削除	[Q_ベンチマーク実績削除]のクエリを開く(データは削除される), フォームCを開く
(f)	M_ベ実_閉じる	閉じる

先輩:「さて、処理内容の表を見ながらマクロを作り上げていこうね。“ベンチマーク実績”マクロをデザインビューで開いて。」野口:「はい。」

先輩:「まずメインからいこう。“アクション”の列に操作を入れていこう。2行目のアクションにカーソルを移して。」

野口:「何で2行目から書くんですか？」

先輩:「実は、1行目には後で入れたい処理があるんだ。もうちょっと待っててね。それで2行目のアクションの▼をクリックし、一覧中の『フォームを開く』を選んで。」(図2)


(図2)

マクロ名	アクション
M_ベ実_メイン	
M_ベ実_新規	ビューを開く フィルタの実行
M_ベ実_検索	フォームを開く プロパティの実行
M_ベ実_変更削除	ページの移動 マクロの実行
M_ベ実_変更削除_削除	マクロの中止 メッセージの設定

野口:「こんな感じですか？」(図3)

先輩:「下のほうに、『アクションの引数』というのがあるでしょ。その“フォーム名”の▼から“F_ベ実_メイン”を選ぶんだ。」

野口:「わかりました。これで、“M_ベ実_メイン”のマクロを実行すると、メインのフォームを開いてくれるんですね。マクロといとなんか難しそうだけど、特別なプログラミングをするわけじゃないんですね。」

先輩:「そうだね。それじゃ、いっかいマクロを上書き保存してくれる。そして、先頭行のM_ベ実_メインのところからカーソルを持って、実行ボタンを押して。」

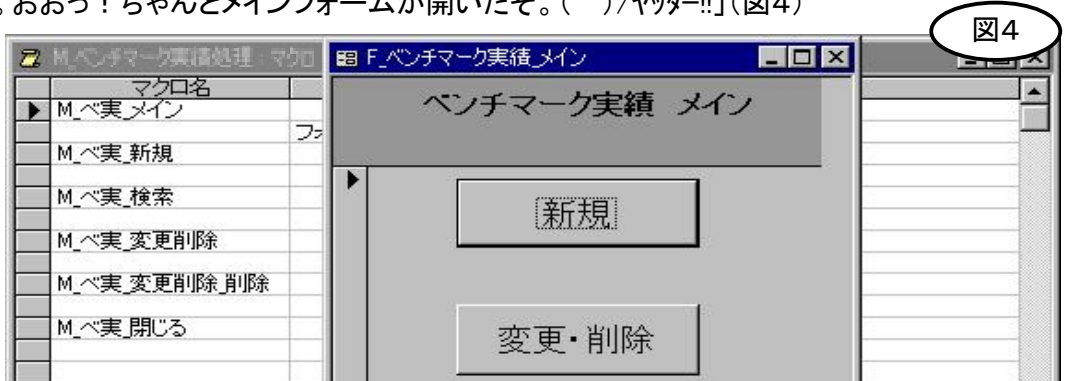
(図3)

マクロ名	アクション
M_ベ実_メイン	フォームを開く
M_ベ実_新規	
M_ベ実_検索	

アクションの引数

フォーム名	▼
ビュー	フォームビュー
フィルタ名	
Where 条件式	
データモード	
ウィンドウモード	標準

野口:「はい。おおっ！ちゃんとメインフォームが開いたぞ。(^^)/ヤッター!!」(図4)



先輩:「さて、その画面には元の“マクロ”デザインの画面も残っているでしょ。このままだと、次々に画面を移っていったときに、元の画面が残ればなしなんだよ。それで、このマクロの1行目には、前処理として『元の画面を閉じる』というアクションを記入するんだ。」

野口:「1行目のアクションですね。一覧の中の、ありました。『閉じる』でいいんですね。」(図5)

先輩:「そう。“アクションの引数”は何もしなくていいよ。さて、同じ要領で『新規』処理もやっごらん。」

野口:「それじゃ、1行目は『閉じる』ですね。2行目に『フォームを開く』を選択して、アクションの引数のフォーム名を一覧から“F_ベ実_新規”で選ばばできあがり、っと。」(図6)

先輩:「じゃあ、上書き保存したあと実行してみよう。」

野口:「はい、どうかなくと。あれ、メイン処理が出た。」

先輩:「そうだね。新規ボタンの設定はできている？」

野口:「プロパティのイベントで“M_ベ実_新規”が起動するようにしています。」

先輩:「じゃ、先に進もう。」

(図5)

マクロ名	アクション
M_ベ実_メイン	閉じる
M_ベ実_新規	フォームを開く

(図6)

マクロ名	アクション
M_ベ実_メイン	閉じる
M_ベ実_新規	フォームを開く
M_ベ実_検索	フォームを開く

フォーム名	F_ベ実_新規
ビュー	フォームビュー
フィルタ名	


野口:「よし、新規ボタンをおして・・・と、ほ～らでました新規の入力フォーム。よく出来ているでしょ。」(図7)



先輩:「デザインは合格だけど、新規入力だったら、先頭レコードが出ちゃダメ。」

野口:「そりゃそうですね。どうすればレコードの追加ができるんだろうか？」

先輩:「それはね、『レコードの移動』というアクションで“新しいレコード”を指定するんだ。それと、その次にフォームのどのフィールドにカーソルが行くか指定する『コントロールの移動』というアクションを使う。コントロール名には“ベンチマークID”を指定すればいい。」

野口:「いきなり難しすぎますよ。」

先輩:「よし、順番にいこう。新規のフォームを開いた後に、2つ処理を追加するんだ。だからまず、次の“検索”マクロとの間に2行挿入しなくちゃいけないので、ツールバーの  ボタンを押す。」

野口:「 ボタンを押す・・・あ、行が増えましたね。もう1行  と。」(図8)

先輩:「そして、アクションの一覧から『レコードの移動』を選ぶ。」(図9)

野口:「はい」

先輩:「アクションの引数だけど、オブジェクトの種類も一覧だから“フォーム”を選び、オブジェクト名も一覧から“F_ベ実_新規”を選ぶ。そしてレコードは一覧から“新しいレコード”を選ぶ。これで、新規レコードが入力できるよ。」(図10)

野口:「ひえ～！ ややこしい、ついてけない。」

先輩:「うーん。それじゃ、マクロのデザイン部分を表にしてあげよう。・・・こんなで、どう。」

野口:「お、わかり易いですね。このままのイメージで登録していけばいいんでしょう？ 今までの操作で、マクロのデザイン画面に慣れてきたし、ついでに検索や削除の分も表にしてくださいよ。お願い！」

先輩:「しょうがないなあ。じゃあやってみるよ。」
(‘へ’)やれやれ・・・

M_ベ実_検索 マクロのデザイン

アクション	アクションの引数
閉じる	オブジェクトの種類: フォーム
フォームを開く	フォーム名: F_ベ実_検索 ビュー: フォーム ビュー

M_ベ実_変更削除 マクロのデザイン

アクション	アクションの引数
フォームを開く	フォーム名: F_ベ実_変更削除 ビュー: フォーム ビュー
閉じる	オブジェクトの種類: フォーム オブジェクト名: F_ベ実_検索

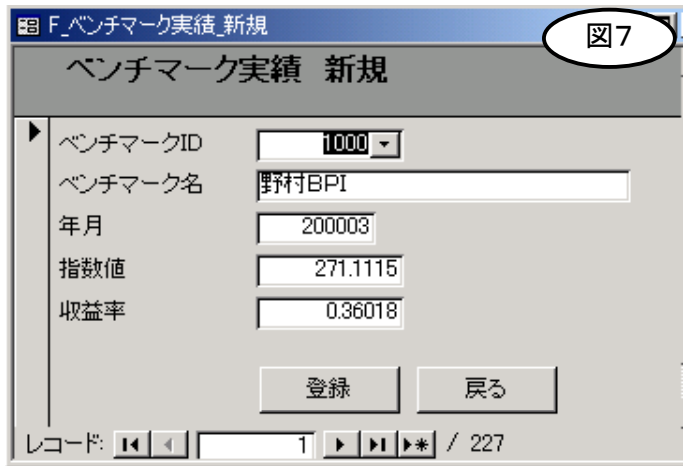
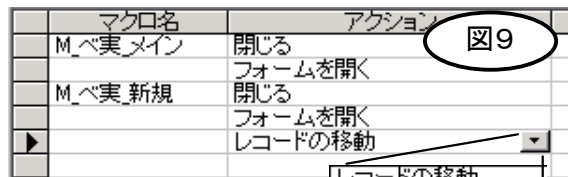


図7



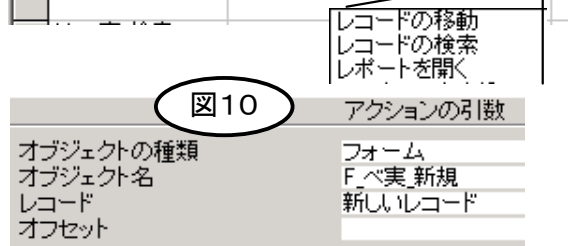
マクロ名	アクション
M_ベ実_メイン	閉じる フォームを開く
M_ベ実_新規	閉じる フォームを開く
M_ベ実_検索	

図8



マクロ名	アクション
M_ベ実_メイン	閉じる フォームを開く
M_ベ実_新規	閉じる フォームを開く レコードの移動

図9



マクロ名	アクション
M_ベ実_メイン	閉じる フォームを開く
M_ベ実_新規	閉じる フォームを開く レコードの移動

レコードの移動
レコードの検索
レポートを開く...

アクションの引数	オブジェクトの種類
フォーム	フォーム
F_ベ実_新規	F_ベ実_新規
レコード	新しいレコード
オフセット	

図10

M_ベ実_新規 マクロのデザイン

アクション	アクションの引数
レコードの移動	オブジェクトの種類: フォーム オブジェクト名: F_ベ実_新規 レコード: 新しいレコード
コントロールの移動	コントロール名: ベンチマークID

M_ベ実_変更削除_削除 マクロのデザイン

アクション	アクションの引数
クエリを開く	クエリ名: Q_ベンチマーク実績削除 ビュー: データシートビュー データモード: 編集
閉じる	(特に指定なし)
フォームを開く	フォーム名: F_ベ実_検索 ビュー: フォーム ビュー

先輩:「それじゃ、うまく処理がつながるか動かしてみたら？」
野口:「はい。」

実行!

それでは削除を試みましょう

あちゃ、間違えて0ばかりで登録しちゃった!

ちゃんと検索ができました

ちゃんと削除もできました

先輩:「けっこうちゃんと動くじゃない。」
野口:「ホント! 感激です。はい。」

先輩:「さて、“ベンチマーク実績”の登録・変更・削除ができるようになったね。他のテーブルのメンテナンスも同じ要領で作りに上げることができるよ。」

野口:「“ファンド実績”処理などは、ほとんどコピーできそうですね。それ以外のテーブルは、単純な単票形式のフォームを作って、それだけでOKにしちゃいます。(^^)」

先輩:「ひととおり出来たら、それらをまとめて呼びだす“テーブルメンテナンス”という大もとのフォームも作るといいよ。つまり上位のメニュー画面だね。」

野口:「わかりやした。これで安心して年が越せそうですね。」

先輩:「大げさなやつだなあ。それに、このデータを使って集計したりレポートにしたりする仕事がまだ残っているでしょ。」

野口:「そうですね。ただ、その前に気にしていることがあるんだけど。運用の月次データって、指定した期間を掛け合わせて期間収益率を算出するんだけど、ACCESSではデータをまとめて演算するようなコトができるんですか？」

先輩:「なるほど、掛け合わせの処理か。Basicでプログラミングすれば出来るんだろうけど、なるべくそういう手段なしにやりたいよね。ボクも考えてみるから、キミも今までの知識やテキストをもとに考えてごらんよ。」

野口:「はい。年末年始の宿題ってとこですね。」

先輩:「さあ。豪華な食事に出かけようか。♪」

野口:「それは夕方からですってば。その前に、『これっきゃない』デザートを食べましょうよ！」

先輩:「なんか大きな袋を持ってたけど、もしかして、季節の・・・♪」

野口:「そうそう！クリスマスデコレーション！ジャンジャカジャン！」

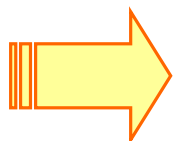
先輩:「うわあ～。おいしそう♪嬉しいな。

でもなんでまた3個もあるの？」

野口:「いやー、ついあれこれ食べたくて。」

先輩:「夕方にいっぱい食べられないように・・・でしょ！バレバレ！」

野口:「げ、スルドイ・・・(^^;)」



To be continued...

